

2021.10.11

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動

野草はもう来年の春の準備を始めている

表：春に咲く花の展葉時期

			8月	9月	10月	11月	12月
2016年	J-027	ムラサキケマン (城址)					
2017年							
2018年							
2019年							
2020年							
2021年							
2016年	J-028	セントウソウ (城址)					
2017年							
2018年							
2019年							
2020年							
2021年							
2016年	J-099	カラスビシャク (城址)					
2017年							
2018年							
2019年							
2020年							
2021年							
2016年	ハ-010	ヒメオドリコソウ (八丁目の林周辺)					
2017年							
2018年							
2019年							
2020年							
2021年							
2016年	ハ-004	オオイヌノフグリ (八丁目の林周辺)					
2017年							
2018年							
2019年							
2020年							
2021年							

今の時期に植物観察をして歩くと、地上に葉だけを広げている植物に出会います。この観察活動を始める前はそのことには全く関心を持たず、ただ「葉っぱがある」とだけ思っていたのですが、この植物はいつまでたっても花を開かないので「これは何だろう？」と思うようになりました。

さらに、植物の名前をひとつずつ確認していく作業をしていると次第に、これらは「春にならないと花をつけない」と分かるようになってきました。そういうことがあって、観察・記録活動でも、開花だけでなく展葉（葉を広げること）の様子を記録するようになったのですが、上の表はムラサキケマン、セントウソウ、カラスビシャク、ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリについて展葉がいつ頃始まっているかを2016年から2020年までの5年間の8月の終わりから12月までの記録から抜き出したものです。



←ムラサキケマン（撮影は10/11）は毎年かなり早く展葉を始め、昨年は8月から葉を広げていました。セントウソウも10月の半ばには展葉、ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリといった早春の「春告げ花」は10月の終わりごろから11月にかけて展葉を始めていました。そして、今年はいかに？ 表のマス（セル）を濃い緑で塗りつぶしたのが10/11の観察記録なのですが、ムラサキケマンを除いて全体として展葉時期が早まっています。（カラスビシャクは他の4種とは異なって、4月の終わりから夏にかけて開花するのが

普通ですが、花期が終わった10月のはじめには再び展葉があり、しかし開花しないで消えてしまっていることが分かりました。)

前年から展葉するという事は、来年の春のために冬になる前に根に栄養を蓄えておこうという「植物の知恵」だと思えるのですが、展葉時期が早まっているというのはどういうことなのでしょう？ 夏→秋→冬の順に気温が低くなっていくという季節の移り変わりが乱れているからなのでしょう。地球温暖化が身近な植物にこのように表れていると言ってもよいのではないのでしょうか？

異様に大きい葉の展開や秋が深まっているのに新芽を出す草もあり

10月になっても気温が下がらない「暖かい秋」の影響かどうか、10/11の観察では下の写真左から、秋なのに新芽を出している**イノコズチ**の仲間、異様に大きな葉を広げて「成長」している**カタバミ**の仲間と**カラスビシャク**も観察されました。



注：「春植物」と呼ばれるのは

春の時期にしか地上に姿を現さない植物のこと

「赤塚公園のニリンソウは春の植物なのに、まだ葉を広げていないのはなぜ？」と思われる方がいらっしゃるかもしれません。ニリンソウは春先に地上に葉を広げ春のうちに花を咲かせ、春が終わると葉も枯れてしまい、翌年の春まで地下で生活をする**春だけ姿を現している**という性格を持った植物なのです。これを「春植物」と言いますが、ニリンソウはその代表的な種です。しかし、そのニリンソウにも「異変」が起きつつあるのは、別の機会に改めてご紹介いたします。

6年目でやっとわかったエノコログサの多彩さ



年配の人には「猫じゃらし」という名前で親しまれてきたエノコログサ。5年間観察してきて、普通の**エノコ**



ログサ (左上) のほかに穂先が赤黄色に輝く**キンエノコロ** (左下) もあるということは分かっていましたが、まだ他にも仲間がいたことを発見。異様に背が高く花穂も大きいのを見て、誰かが「**オオエノコログサ** (上中) じゃないの」と言いました。みんなで「オーッ、そうだ！」と納得。キンエノコロほど穂先は色づいていないけれど、やや茶色がかった黄色の**アキノエノコログサ** (上右) も調べてみればなるほど、4種あり。

10～11月のモニタリング活動

どなたも参加できます。参加する皆さんの自主活動の集まりです。

10/18、11/8、11/15、11/22 いずれも月曜日 9:00 ため池公園梅林下スタート

お問い合わせは都立赤塚公園サービスセンターへ **03-3938-5715**

赤塚公園どんぐりまつり

10/17 (日) 中央地区サービスセンター前 10:00～15:00